

教育基本法との対照表

教育基本法 第2条	『新編 新しい社会 歴史』の内容の特色	教科書の該当箇所
<p>第1号： 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習の導入部に、生徒の興味・関心を引き出す大きな「導入資料」を設け、主体的な学びを促すとともに、真理を求める態度を養えるようにしました。 	全体 (特に p.22-23、64-65 など)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 単元は問いによって構造化されており、単元を貫く課題（探究課題）、各見開きの「学習課題」と「チェック＆トライ」の解決を通して、課題解決的な学習ができるように構成されています。 	全体
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本文は丁寧で、事象の背景や因果関係が分かりやすく、歴史的な事象をとらえて幅広い知識と教養が身に付けられるようにしました。 	全体
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「歴史的な見方・考え方」を働かせた深い学びが実現できるよう、第1章1節で「歴史をとらえる見方・考え方」を設けるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」マークを付して、働かせる場所と視点を明示することで、学習を深められるようにしました。 	p.10-15、26、30 など
<p>第2号： 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「スキル・アップ」コーナーを設け、歴史地図・文献資料・系図・グラフ・風刺画といった資料の読み取りや、調査や分析の手法などの技能を生徒自らが身に付けることで、社会的事象を読み解く能力を伸ばし、自主と自律の精神を養えるようにしました。 	p.29、37、40、43、131、187 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 人物コラムや「もっと知りたい!」で、国際的に活躍し評価される日本人を取り上げ、勤労を重んじる態度を養えるようにしました。 	p.208、231 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や、色以外の情報で見分けやすいデザインを全面的に採用したほか、使用する全ての文字を誰もが読みやすいように改善された「ユニバーサルデザインフォント」とし、不要な凹凸や飾りをなくした「フラットデザイン」を取り入れたことで、様々な特性を持つ生徒の価値を尊重するとともに、その能力を伸ばせるようにしました。 	全体
<p>第3号： 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 巻頭で、持続可能な社会の実現に向けて歴史から学ぶことの重要性を取り上げるとともに、第7章3節「新たな時代の日本と世界」では、歴史の学習をふまえて自分なりの考えをまとめる活動を充実させることで、より良い社会の形成に主体的に参画する資質や能力を養えるようにしました。 	p.2-3、264-265、274-275 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1章2節「身近な地域の歴史」では、歴史を調べる際の手法を丁寧に説明し、地域社会に積極的に関わり、主体的に社会の形成に参画する意識と態度を養えるようにしました。 	p.16-19
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「みんなでチャレンジ」コーナーを随所に設け、活動を通して他者の考えを尊重しながらグループで対話したり、協力しながら活動する場面を示すことで、自他の敬愛と協力を重んじる態度を育成できるようにしました。 	p.9、10、12、14、23、26 など多数

教育基本法 第2条	『新編 新しい社会 歴史』の内容の特色	教科書の該当箇所
<p>第4号： 生命を尊び、自然を大切に し、環境の保全に寄与する 態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 全章を貫く5つのテーマの1つとして、「環境・エネルギー」に関する題材を積極的に扱うとともに、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）を取り上げ、環境保全に寄与する態度を高められるようにしました。 	<p>p.2-3、193、257、264、 266-267 など</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史上の公害問題や地球環境問題を多く取り上げ、環境保全への意識を高めるとともに、生命尊び自然を大切にすることを養えるようにしました。 	<p>p.155、193、257、264 など</p>
<p>第5号： 伝統と文化を尊重し、それ らをはぐくんできた我が国と 郷土を愛するとともに、他国 を尊重し、国際社会の平和 と発展に寄与する態度を養 うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 全章を貫く5つのテーマの1つとして、「伝統・文化」に関する題材を積極的に取り上げ、我が国の伝統文化への理解を深めるとともに、他国の文化を尊重する意識や態度を養えるようにしました。 	<p>p.2-3、58-59、 86-87、109、 120-121 など</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化史に十分な紙面を割くとともに、特設ページ「もっと知りたい!」では、現代に受け継がれる神話や琉球文化、アイヌ文化を取り上げ、伝統や文化への理解を深められるようにしました。 	<p>p.38、43、50-51、 56-57、58-59、 74-75、86-87、 120-121 など多数</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界史の学習内容として、古代文明や三大宗教、東アジアにおける朝貢、イスラーム世界やモンゴル帝国の拡大などを扱い、我が国の歴史を国際的な視点からとらえられるようにするとともに、他国の文化を尊重する意識や態度を高められるようにしました。 	<p>p.26-33、76-79、 84-85 など</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1章2節「身近な地域の歴史」では、歴史調査の手法とともに、身近な地域の国宝、重要文化財や主な史跡を数多く紹介することで、我が国の伝統や文化を尊重し、郷土を愛する心を養えるようにしました。 	<p>p.20-21</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 第5章3節6項「領土をめぐる問題の背景」では、我が国が抱える領土をめぐる問題について、領有の歴史的な経緯を丁寧に解説することで、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であることを意識できるようにしました。 	<p>p.176-177</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 第7章「現代の日本と私たち」では、戦後から今に至る日本と世界の動きについて理解を深めることで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。 	<p>p.244-275</p>